

報道関係各位

株式会社名古屋銀行 経営企画部
小嶋・倉田 Tel : 052-962-7996

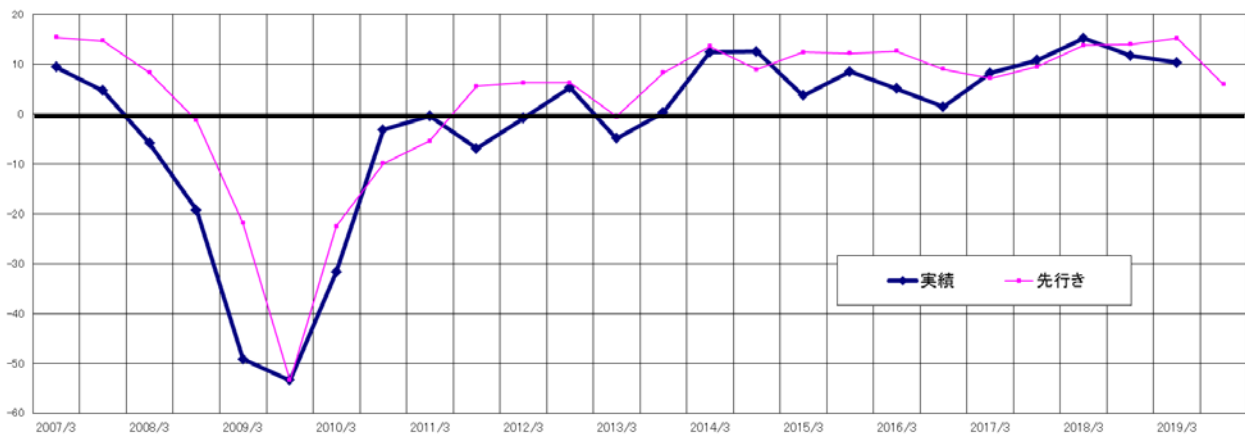
第138回 東海地区三県下(愛知・岐阜・静岡)の企業経営動向調査

- ✓全産業の業況総合判断 D.I.は12期連続でプラスとなるも、2期連続でプラス幅は縮小した。
- ✓先行きについても今回実績を更に下回る見通しとなった。(今回実績 10.3→先行き 5.9)
- ✓経営者心理の悪化要因は海外経済の減速と人件費の高騰によるものが大きく、景気後退の懸念が強まっている。

《ポイント》

- ✓業況総合判断 D.I.は、実績・先行き共に小売業を除いた業種でプラスを維持しているが、実績については建設業を除いてプラス幅が縮小している。
- ✓収益 D.I.は、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁すると共に売上高が増加していることから12期連続のプラスとなっており、企業の収益力は上昇している。
- ✓設備投資 D.I.は、22期連続でマイナスとなっていたものの、2018年度上期以降2期連続でプラスとなっており、設備投資マインドの回復が予想される。
- ✓経営上の課題は、全ての業種において求人難が1位、人材の育成が2位となっており、人手不足をはじめとした人材に係る課題が深刻化している。

【業況総合判断 D.I.推移(全産業)】



(注)「D.I」:「好転」企業の割合と「悪化」企業の割合の差、先行きは半年先の予想

【経営上の課題】

	1位		2位		3位		4位		5位	
	課題	%	課題	%	課題	%	課題	%	課題	%
全産業	求人難	40.6 (34.5)	人材の育成	19.1 (22.3)	売上・受注不振	9.5 (11.2)	新事業展開・技術開発	5.6 (5.9)	原材料高	4.5 (5.0)
製造業	求人難	34.8 (31.1)	人材の育成	18.3 (20.6)	売上・受注不振	13.2 (14.1)	原材料高	7.0 (7.7)	新事業展開・技術開発	6.5 (5.4)
卸売業	求人難	29.6 (18.4)	人材の育成	18.3 (23.2)	売上・受注不振	13.0 (15.7)	新事業展開・技術開発	5.9 (10.8)	原材料高	5.3 (6.5)
小売業	求人難	33.3 (31.6)	人材の育成	16.7 (21.1)	売上・受注不振	11.1 (12.3)	過当競争激化	11.1 (10.5)	収益不振	7.4 (1.8)
建設・不動産業	求人難	48.9 (40.6)	人材の育成	22.2 (24.9)	新事業展開・技術開発	4.0 (4.1)	売上・受注不振	4.0 (7.8)	人件費高騰	3.1 (4.1)
運輸・倉庫業	求人難	69.0 (60.5)	人材の育成	14.1 (10.5)	人件費高騰	5.6 (2.6)	原材料高	4.2 (5.3)	売上・受注不振	2.8 (1.3)
サービス業	求人難	45.5 (42.2)	人材の育成	20.8 (28.3)	新事業展開・技術開発	9.1 (7.2)	売上・受注不振	6.5 (7.2)	事業承継	4.5 (-)

(注)カッコ内は前回調査